

# 熊本地震から半年

## 益城町で地元仏教青年会が追悼法要

は若手僧侶ら23人が動き、手を合わせる場所とし、正信偈をつとめた。続いて、八代市・光澤寺の源大信住職が法話した。

は若手僧侶ら23人が動き、手を合わせる場所とした。村上さんは「心の整理がつかず、受け入れがたい状況が続いていますが、手を合わせお参りできました。一人ではないことに気が付かされ励みになります。残された子どもとあきらめずに歩んでいきます」と話した。

熊本地震の発生から半年を迎えた10月14日、熊本県益城町の益城町文化会館で熊本地震追悼法要が営まれ、宗寺住職でもあり、「震の思いを話した。法要

80人が参拝した。益北で失われた命を静かに偲び、今生かされていくのちに寄り添っていききたい」と法要へ

同会会員らは地震直後から倒壊した寺院の解体作業に参加。その中で門徒の心の依りどころを求める思いを聞

呼びかけた。同町・浄信寺からの案内で参拝した村上恭子さん(53)は自宅が全壊し、夫と義母を亡く